

# DSL 始めよう! 有線で快適インターネット!!

常時接続、安くて定額!!

月額料金 **1,260円**～ (税込)

\*常時接続、定額制だから、いつでも何時間でも使い放題!

\*速度はメガの数値だけでなく、局からの距離で大きく違ってきます。

『有線DSL』は各地区に中継局\*があるので、速度のロスが少ない状態でご利用いただけます。

※(本局、上雲寺局、高士局、長面局、諏訪局、平岡局、中田原局、飯局、木田局、中寺局、今泉局、岡原局、三郷局)

## 大好評! ハイパー27&16

### 有線DSL接続サービスのご案内

月額利用料金は、モデムレンタル料、消費税を含む料金です。

サービスタイプ	初期費用	月額利用料	最高通信速度	IPアドレス割当個数	ウイルスブロック
ハイパー27	無料	2,940円	27Mbps(下り) 3Mbps(上り)	グローバル:1	標準メール アドレスに添付
ハイパー16	無料	2,730円	16Mbps(下り) 3Mbps(上り)	グローバル:1	標準メール アドレスに添付
ハイパー	無料	2,310円	8Mbps(下り) 1Mbps(上り)	プライベート:8 グローバル:1	別途有料 オプション
スタンダード	無料	2,100円	1Mbps (下り/上り)	プライベート:4 グローバル:1	別途有料 オプション
エントリー	無料	1,260円	0.5Mbps (下り/上り)	プライベート:4 グローバル:1	標準メール アドレスに添付

上記料金に含まれる共通サービス : メールアドレス:1個/メールスプール容量:20MB/ホームページ容量:30MB

本サービスはベストエフォート型のサービスです。最高通信速度を保証するものではありません。お客様の環境により、ご利用頂けない場合がございます。

\* (社)上越市有線放送電話協会ではプロバイダー「infovalley」との接続により、有線放送電話回線を利用したインターネット「DSL接続サービス」を提供しています。

\* 有線インターネットDSLをご利用になるには有線放送にご加入いただく必要があります。有線放送と同時にインターネットDSLにご加入いただくと、特別割引があります。詳しくは下記までお問合せください。

\* 上記インターネットの月額料金には有線放送の使用料金は含まれません。

有線インターネットのお問い合わせ、お申込みは

**(社)上越市有線放送電話協会**

〒943-0153 上越市鴨島1-2-39

TEL **523-6567**

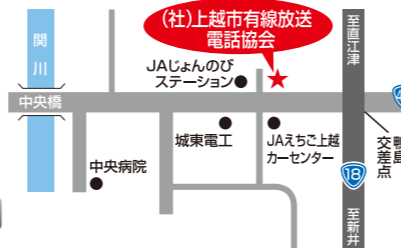
有線番号 **53-3333**

E-mail **info@jhk.or.jp**

ホームページ

上越ゆうせん  
http://www.jhk.or.jp

検索



**JHKI**  
有線放送  
番組ガイドブック

第28号 平成24年6月24日発行

# ゆうほう通信

発行/ (社)上越市有線放送電話協会

〒943-0153 新潟県上越市鴨島1-2-39 電話(025)523-6567 有線番号53-3333

小川未明生誕130年によせて 毎月第3水曜日 **好評放送中** 朝6時～、昼12時15分～

## 小川未明の生涯

出演

春日山神社宮司  
小川清隆さん



明治34年に未明の父・小川澄晴が創建した春日山神社。宮司を務める小川清隆さんは未明の甥にあたります。皆さんもご存知の通り、今年は小川未明生誕130年の節目にあたり、昨年来さまざまな記念・顕彰イベントが開催されています。神社に残された写真や書簡、小川さんが見た未明と小川健作(本名)。この番組では、小川さんのお話を聞きながら未明の人となりや未明の作品とその魅力・源泉を探ります。(写真右 小川清隆さんと除幕式には未明も訪れた春日山神社境内の詩碑)

### 【放送の記録とこれからの予定】

#### 放送済み [4月～6月]

第1回  
4月18日

一枚の写真から  
見えてくるもの

未明の次女岡上鈴江著「父小川未明」に掲載の、紋服の母チヨと羽織はかま姿の未明14歳の頃の写真から、春日山神社創建に奔走し不在がちな父澄晴と、当時の家庭のようすがうかがえる。



(小川家提供)

第2回  
5月16日

未明と3人の女性

未明の養家(申し合わせの上拾い親となった隣家)の乳姉弟サク。中学の落第祝いをして未明を励ました母のチヨ。貧困時代、長男長女を相次いで亡くすも献身的に未明を支えた妻のキチ。3人の女性の存在が未明に与えたものは。

第3回  
6月20日

ふる里は帰る所にあらし

生れて間もなく隣家に養子に出され、多感な少年の心に棲みついた孤独癖。教科の好き嫌いが激しく学校に馴染めなかった中学時代。「小説だけで生きていく」と決意した大学時代。たまさかの帰郷の折も春日山から降りず、室に籠っていた未明。

#### これから放送 [7月～9月]

第4回  
7月18日

戦の足音迫る

貧困の中での2児の死。貧しい人々への共感と同情が作品に注ぎこまれる。社会主義者とのレッテルを貼られ、戦況が厳しくなるにつれ身辺にまとわりつく官憲の影。友人の家が当局によって荒らされ、未明一家も後をつけられる。

第5回  
8月15日

栄光の日々～  
文化功労者となり旭日章を贈られる

未明が新潟県人であることはあまり知られていなかった。県人と大きく知られるようになったのは文化功労者になった終戦以後のこと。父母が亡くなり血縁者がいなくなったふる里春日山に詩碑が建立され、除幕式に出席する未明74歳。

第6回  
9月19日

未明の魂はふる里に帰る～  
父母の碑立つ

修学旅行の引率で上京中に未明の訃報が届き、誰もいない部屋で枕辺に寄り添う。「おじさん一緒に帰ろう」夜行列車で帰郷の途、朝日が眩しく車窓に差し込む。未明の魂を乗せて列車はふる里へ。

\*「小川未明の生涯」放送終了後に記録CDを作製します。放送を聞き逃された方、通してお聞きになりたい方は有線本部までご連絡ください。有線 53-3333 電話 523-6567

当時25歳前後の小川さんが、東京の自宅の応接間で未明を写した1枚。取材撮影に応じる positioning らしく、小川さんの求めに「そうか、そうか」と自ら構図を決めて写真に納まる。この写真はその後、数々のパンフレットや資料などに貸し出され多くの人の目にふれることに。

